

## 2. 景観の現況調査

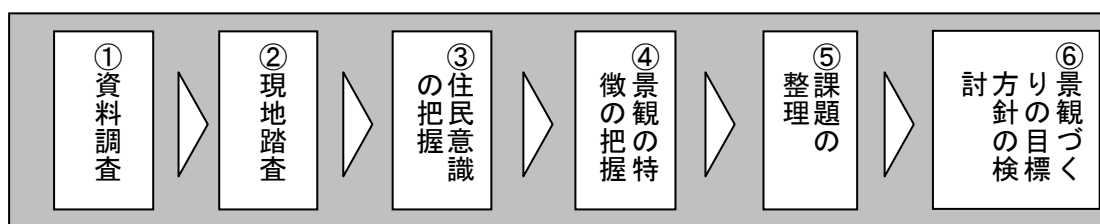
景観の現況調査を行う理由は、地域の景観を客観的に見つめ直し、課題を明らかにすることにより、景観づくりの方向性や景観づくりに必要な施策の内容を検討する土台をつくることにあります。

景観づくりは第1章で述べた通り、住民・事業者等、行政が協力して行うものです。地域の景観づくりに住民の意向を反映するためにも、調査段階から積極的に住民に参加してもらうことが必要です。

### (1) 調査の流れと各段階の説明

実際に調査を行う際の参考的な流れと各項目について以下に説明しますが、ここに示すものはあくまでも参考例であり、必ずこのようなステップを踏まなければならないというものではありません。

#### ■図－景観づくりの調査の流れ（目標・方針の設定まで）



#### ①資料調査

地域らしさを把握することを主眼として、地域の景観を形づくっている自然系、生活・産業系、文化・歴史系条件について、既存資料等から概況を調査します。

#### ■表－概況把握のためのデータの項目例

項目例	内容
自然系	・ 山地、丘陵地、平地、河川、水面、山頂、稜線
生活・産業系	・ 気候、地勢、人口、産業、土地利用、都市化概況 ・ 上位計画における景観の位置づけ ・ 広域における自然的、社会的な市町村の位置づけ ・ 市町村が属する景域の現況と課題、景域内の市町村の位置づけ ・ これまでの市街地形成の考え方、今後のまちづくりの計画・構想 ・ 道路、河川等の都市施設で景観関連事業の計画及び実績 ・ まちづくり活動、建築協定、緑地協定、自治会や住民組織等の特徴的な活動
歴史・文化系	・ 地域の歴史 ・ 市街地形成の歴史 ・ 祭事、イベント

#### ②現地踏査

全体的な景観の傾向を調査するためには、調査対象となる地域を偏りなく見て回ることが有効です。これまで気付かずにいた景観資源を発見することにもつながり、地

域の個性を活かした景観づくりに役立ちます。

### ③住民意識の把握

住民意識の把握は、住民が日常生活の中で、自分達が住んでいる地域の景観についてどう感じているか、何を大事にしたいと思っているか、どんな点に問題があると考えているかなどについて知るために重要です。把握の方法としては以下のような方法があります。

#### a. アンケート

地域の特徴や印象などに関する住民の意識や考え方等を把握するために必要な質問項目を設定して、住民にアンケート調査を行うことが考えられます。また、事業者に対して、景観に対する意識や、施設整備や土地利用の際の景観的配慮点、今後の施設整備の予定などを調査することも考えられます。

#### b. ワークショップ

景観づくりに関心のある住民等を募集し、景観に対する認識や、今後の景観づくりの方向性などについて、自由に話し合ってもらう「ワークショップ」を実施することも、景観に関する住民意識を捉える有効な手段の一つです。



○室内でのワークショップ風景



○屋外でのワークショップ風景

### ④景観の特徴の把握

地域の景観の特徴を正確に把握するため、資料調査や現地調査で取り上げた景観資源の分布を地図や表に整理します。

また、農地・市街地等の土地利用状況、山地・台地・低地等の地形など、景観上同質の面的な広がりを持つ区域、道路・河川などの軸を形成する要素を地図に整理することにより景観上の特徴が明確になります。

これらの図や表によって、どこにどのような景観上の特徴があるのかが明確になり、地域の特性にあった景観づくりを進めやすくなります。また、地域の景観の現状を住民・事業者、行政等の景観づくりに関係する人々が共有していくことにより、今後の景観づくりの方向性を検討する共通の土台とすることができます。



### ⑤課題の整理

景観の課題とは、地域の景観の良い点を保全するためにはどうすればよいか、悪い点を改善するにはどうすればよいか、不足している点を補うにはどうすればよいか、ということです。これらを整理することにより、どこに、どのような景観づくりが必要であるかが明らかになり、景観づくりの目標・方針を立て施策を講じることができるようになります。

景観の課題を整理する方法の一つとして、景観課題図による整理があります。これは、調査により明らかになった景観資源において、保全要素（良好な景観を形づくっている要素で、守る必要があるもの）、不足要素（明確なイメージが必要な場所で、その表現が不足しているもの）、阻害要素（景観を乱している要素で、改善したり除去する必要があるもの）を明確にするとともに、これらを地図に落とし込むことにより、景観づくりに関わる様々な立場の人々が共通の認識を持てるようになります。

■表一景観の課題の整理項目

	内容
保全要素 （良好な景観を形づくっている要素で、守る必要があるもの）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドマークへの眺望</li> <li>・市街地の背景となっている斜面林</li> <li>・往時を偲ばせる街道の並木道</li> <li>・地域の景観を特徴づける歴史的な施設 等</li> </ul>
不足要素 （明確なイメージが必要な場所でその表現が不足しているもの）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特徴を表現していない駅舎</li> <li>・画一的なデザインの住宅団地</li> <li>・街路樹等の演出がない駅前道路 等</li> </ul>
阻害要素 （景観を乱している要素で、改善したり除去する必要があるもの）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模なコンクリート吹きつけの法面</li> <li>・農地内に突然現れる住宅群</li> <li>・周囲と調和しない色彩やデザインを持つ施設や広告物</li> <li>・野積みされた廃棄物 等</li> </ul>